

こんにちは。トリプルアイズの白石です。  
いつもお読みいただきありがとうございます。

秋も深まってきました。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…皆さんはどんな秋をお過ごしですか？  
今回も盛りだくさんの内容でお届けします。ぜひ最後までご覧ください！

-----<目次>-----

1. 将棋に強い人はエンジニアに向いているのか？ トリプルアイズで将棋採用スタート
2. トリプルニュース
3. 【プチ連載】 AI エンジニアの仕事 1問1答
4. IT 批評
5. 編集後記

-----

## 1. 将棋に強い人はエンジニアに向いているのか？ トリプルアイズで将棋採用スタート



2019年に大きな話題をさらった「将棋採用」をこの秋より再始動します。「将棋採用」とは、アマチュア有段者がトリプルアイズ社内の実力者と対局。勝利した場合には、そのまま最終面接に進める採用試験です。

前回（2019年）の将棋採用時には、発表と同時に将棋メディアやSNSなど各所で大きな話題となり、応募者が殺到いたしました。結果 **11名**が採用となり、エンジニア職などトリプルアイズの各部署で能力を発揮しています。全社員200名あまりの会社で11名ですから、反響の大きさもわかっていただけるのではないのでしょうか。

将棋採用は、創業者でありアマチュア実力者でもあった今は亡き福原智前代表が率先して行ってきました。その根底には、将棋で培われたロジカルな能力が最大限に活かされるプログラミングの職に就いてほしいという考えがありました。



社員と将棋を指す福原創業者（2019年）

AIがトップ棋士を破ってからすでに10年、最近ではプロ棋士もAIを使って勉強することが当たり前のようになり、AIの進化によって将棋も新しい時代に突入した感があります。藤井聡太三冠は中学1年の頃からAIによる局面評価を参考にしていたそうです。将棋に親しむ人がAIと相性がいいのがわかりますね。

AIで育ったデジタルネイティブ世代の棋士には、先端テクノロジーの研究開発において活躍することが期待できますね。

ちなみに、今回の募集もTwitterでは大きな話題となりました。トリプルアイズの将棋部は実業団最高峰のS級で準優勝している強豪ぞろいですから、余計に挑戦心を刺激しているようです。また、採用にゲーム性を取り入れているところも共感を呼んでいます。今回は果たして何人が採用できるのか、結果が出ましたらまたご報告いたします。

将棋採用ニュースリリースは[こちら](#)

## 2. トリプルニュース

### 沖縄・ネオパークオキナワへAIZE Research 導入！

北は北海道、南は沖縄まで。AIZEが沖縄県の動植物園・ネオパークオキナワへ設置されました。

ネオパークオキナワは沖縄県名護市にある人気の動植物テーマパーク！ 東京ドーム約5個分という広大な敷地の中で、世界の熱帯地域の環境を再現しているのが特徴です。動物たちの様子が間近で楽しむことができるのも人気の理由。行ってみたいですね～！

ネオパークオキナワ様 ホームページ：<https://www.neopark.co.jp/>



入口です。どんな世界が広がっているのでしょうか？

ネオパークオキナワ内のおみやげ店に AIZE Research を導入いただきました。3 台の AI カメラで捉えたお客様の顔画像より属性を可視化することで、実態に基づいたマーケティングが実現されます！

また今回 AIZE は株式会社 EBILAB 様の「来客予測 AI」と組み合わせてご活用いただきます。

クラウド上で「AIZE」が画像解析し、来場者数や滞在時間をカウントするとともに男女比率や年齢などの属性を分析します。この分析データをもとに「来客予測 AI」が未来の来客数や売り上げを精緻に予測するというシステムです。

株式会社 EBILAB 様「来客予測 AI」ホームページ：<https://ebilab.jp/service/forecast/>

AIZE ホームページ：<https://aize.jp/>



レッサーパンダが間近で見られます！ かわいい！

皆さんも沖縄旅行の際は、ぜひネオパークオキナワへ足をお運びください。

## AT20 祝！一人目の修了者

メルマガでもご紹介させていただいている AI エンジニア育成プログラム「AT20」。

おかげ様でご好評いただき、現在も多くの受講生が学びに精を出しています。そんななか、社外の受講者から初めてプログラム修了生が誕生しました！

プログラム修了の際は難関といわれる最終試験があります。その試験も乗り越え合格されたとのこと、おめでとうございます！

受講のご感想は次回ご紹介させていただきます。



AI エンジニアになろう！ AT20 (<https://at20.info/>)

それでは、実際に AI エンジニアとして活躍する社員インタビュー、「AI エンジニア一問一答」へ続きます。

### 3. 【プチ連載】 AI エンジニアの仕事 1 問 1 答

できる AI エンジニアはどこが違うのか？ エースエンジニアに聞く（その 2）

今回も AIZE 開発チームでチーフ AI エンジニアを務める HK さんに登場いただきます。できる AI エンジニアはどこが違うのか？ ここでしか聞けない話をお送りします。

#### Q. AI エンジニアをやっていて挫折しそうになることはありますか？

A. データセットの作成作業ですね。コンピュータに学習させるために、生のデータにラベル付けをします。例えば、性別判定が目的であれば、生のデータを目視して男性（0）なのか女性（1）なのかラベル付けをしていきます。データは多ければ多いほど精度が上がるのでこれを延々と繰り返します。とても地道で泥臭い作業です。ただ、現在は大量のデータを必要としない「データの水増し手法」の研究や便利なラベル付けのアプリケーションも OSS で提供されており、少ないデータでも精度が上がるように工夫しながらやっています。

**Q. できる AI エンジニアとはどういうエンジニアですか？**

A. AI のプロジェクトは 1 週間や 2 週間単位のサイクルを回していく感じです。そのサイクルで学習して検証して、仮説を立ててまた学習しての繰り返しなのですが、その際に結果に対する考察を出して、次にどういうことをやっていきたいのか自分の意思をきちんとお客様や社内に対して説明することができないと、プロジェクトを前に進めることができません。AI のプロジェクトは、最初からうまくいくことは稀です。1 カ月費やしても到達度が 0% なんてこともありうるわけです。「このやり方では結果が出ない」という結果は出ているので無意味ではありませんが、お客様や社内に説明して納得していただいてプロジェクトを進めるというのは、なかなかハードです。できるエンジニアは自分の考察に自信を持って「こうしたい」と言えるエンジニアだと思います。

**Q. お客様とのコミュニケーションは重要ですか？**

A. AI に関してはエンジニアは専門家ですが、業務を熟知しているのはお客様です。お互いが歩み寄ることがないとプロジェクトはうまくいきません。そういう意味では、お客様の意見に耳を傾けることができるという能力も必須です。お客様の意見からヒントをもらうこともしばしばあります。

(次回もエースエンジニアの話です)

**4. IT 批評**

**デジタルアイデンティティの記事まとめ**



9 月 10 月と特集してきました「デジタルアイデンティティ」の記事が出揃いましたので、下記にまとめておきます。デジタル庁発足や現金給付、マイナンバーカードなど旬な話題について論じておりますので、ぜひご一読ください。

[▶日本の IT サービスがグローバル化できない本当の理由——「アイデンティティ・マネジメント」入門（1）](#)

[▶脱 GAFA を志向する「自己主権型アイデンティティ」——「アイデンティティ・マネジメント」入門（2）](#)

[▶情報ではなく信用が流通するデジタルアイデンティティの時代](#)

[▶デジタル庁は“デジタル敗戦”挽回の道筋を描けるか？——アジア・パシフィック・イニシアティブ主任研究員・向山淳氏に聞く（1）](#)

[▶信頼に足る制度設計を国民に提案できるかがカギ——アジア・パシフィック・イニシアティブ主任研究員・向山淳氏に聞く（2）](#)

[▶街頭の AI カメラが迫る社会の成熟](#)

[▶JR 東日本の監視カメラ問題で露呈した「総括しない日本」――崎村夏彦×クロサカタツヤ デジタルアイデンティティ対談（1）](#)

[▶ID は第四次産業革命を推進するキャピタルである――崎村夏彦×クロサカタツヤ デジタルアイデンティティ対談（2）](#)

\*\*\*\*\*  
**編集後記**

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

トリプルマガジン発行1周年までのカウントダウンが始まりました。これもひとえに、お読みいただいている皆さまのおかげです。1周年ではプレゼント企画も検討しています。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！

\*\*\*\*\*